

上毛新聞

H12年

8月5日

## 富岡の施設で 養鶏技術を指導

前橋の久保田さん

富岡市後援の知的障害者授産施設、水土舎（金谷透施設長）で、前橋市の養鶏会社カントウの久保田弘さんが養鶏の技術指導を行った。

水土舎は今年四月に開設され、利用者二十数人と職員が主にハム、ソーセージを製造している。このほか、地域の人やボランティアの協力を得て、米や野菜作りにも取り組んでいる。

鶏はカントウが寄贈した六百羽を飼育し、卵を宅配で販売したり、JAの直売所などに出荷している。久保田さんは、えさの与え方やふ卵器の管理法、よく卵を産んでいる

H12  
8.15  
上毛

鶏と遊んでいない鶏の見分け方などを丁寧に説明。利用者からは実際に鶏に触りながら熱心に聞いていた。卵の宅配希望など問い合わせは、水土舎（☎0274・64・1254）へ。

久保田さんの説明を聞く水土舎の利用者と職員

